【ゴールドフェスタ2026・第5部】

ゴールドフォーキャスト2026

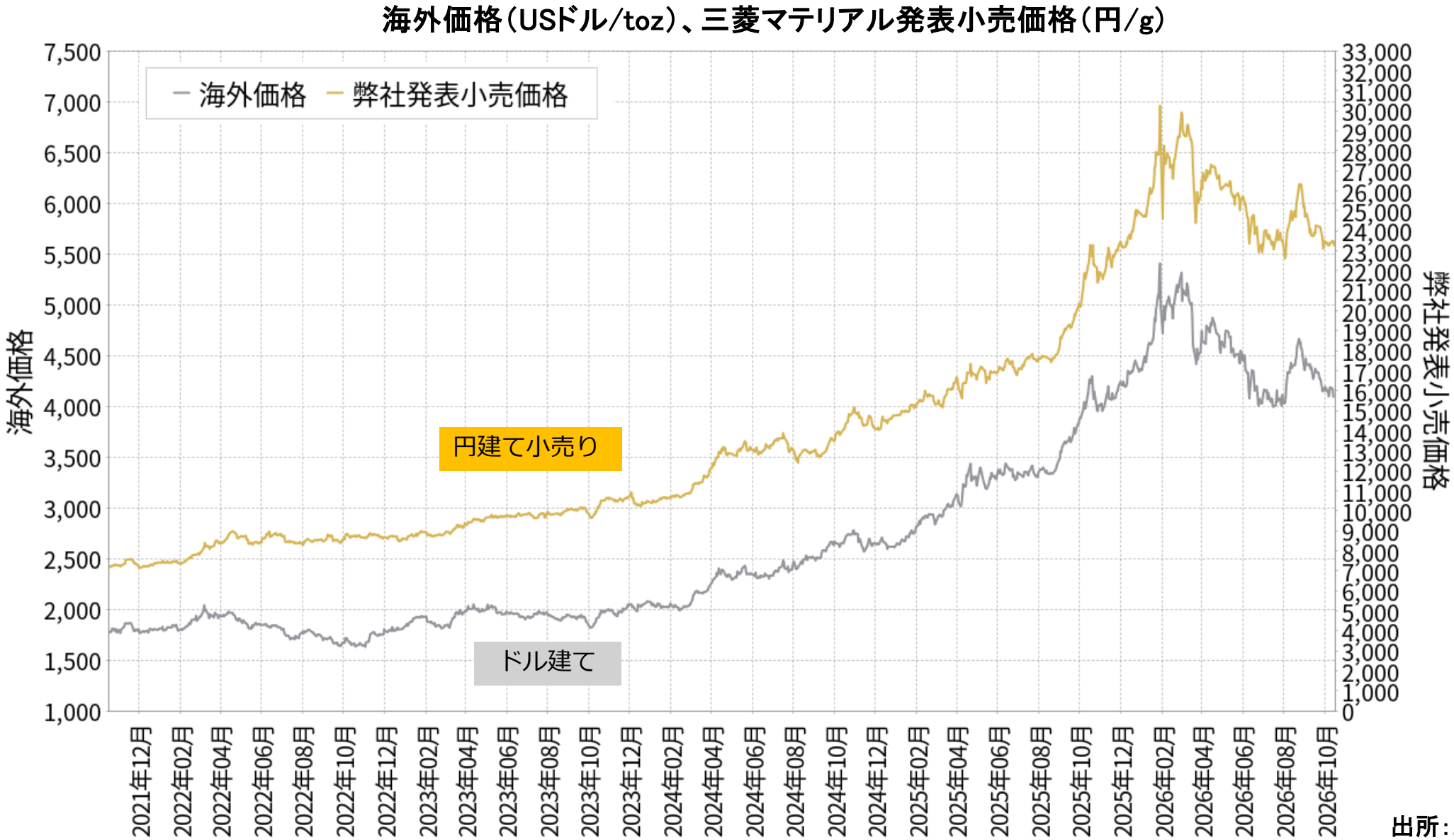
～不透明な時代、どうなる金価格～

2026年10月17日

池水雄一×亀井幸一郎×小菅努

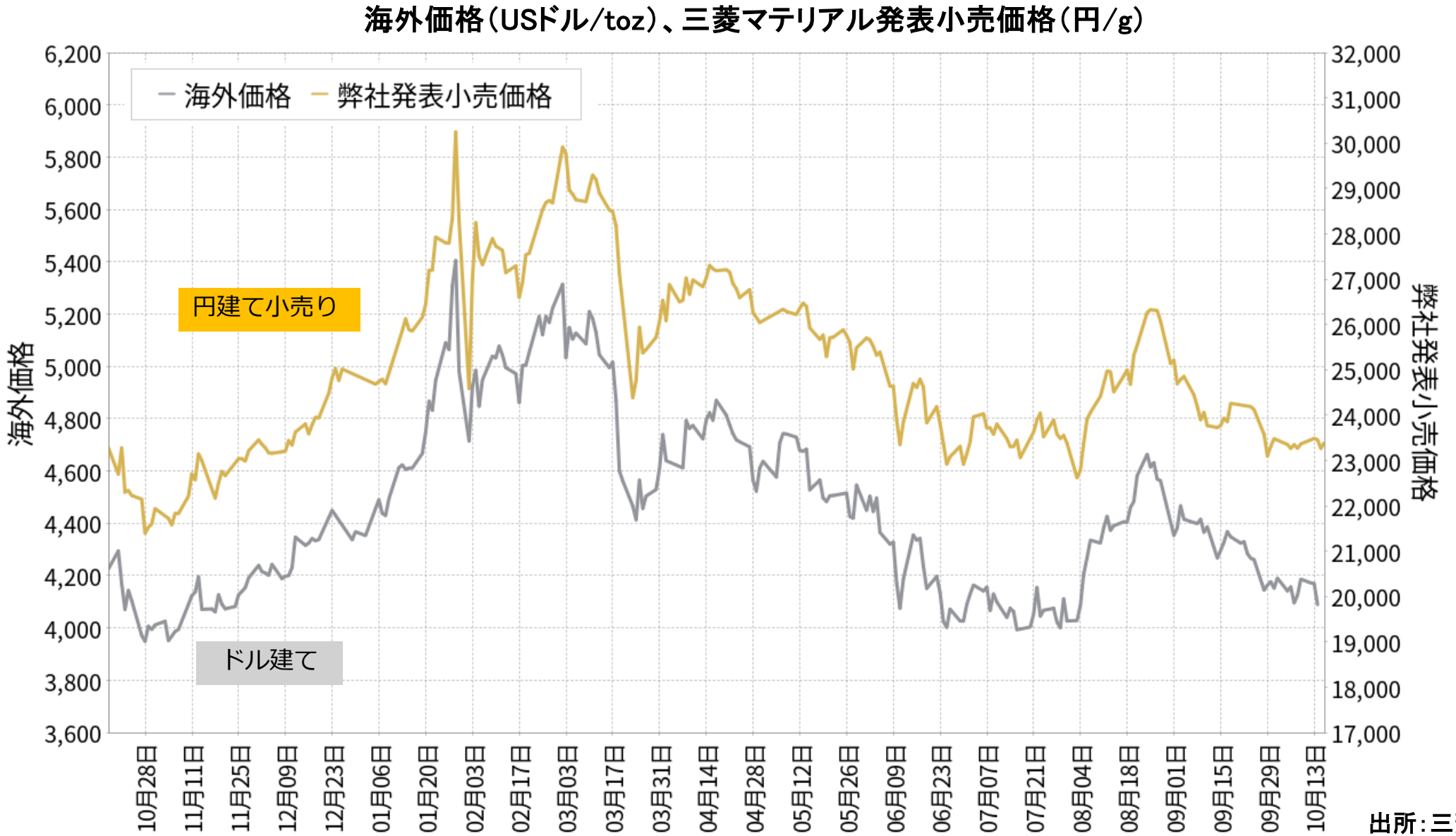
ゴールド価格推移

金価格（過去5年：2021～2026年）



出所：三菱マテリアル

金価格（過去1年：2025～2026年）



出所：三菱マテリアル

今後の金：３つの注目点

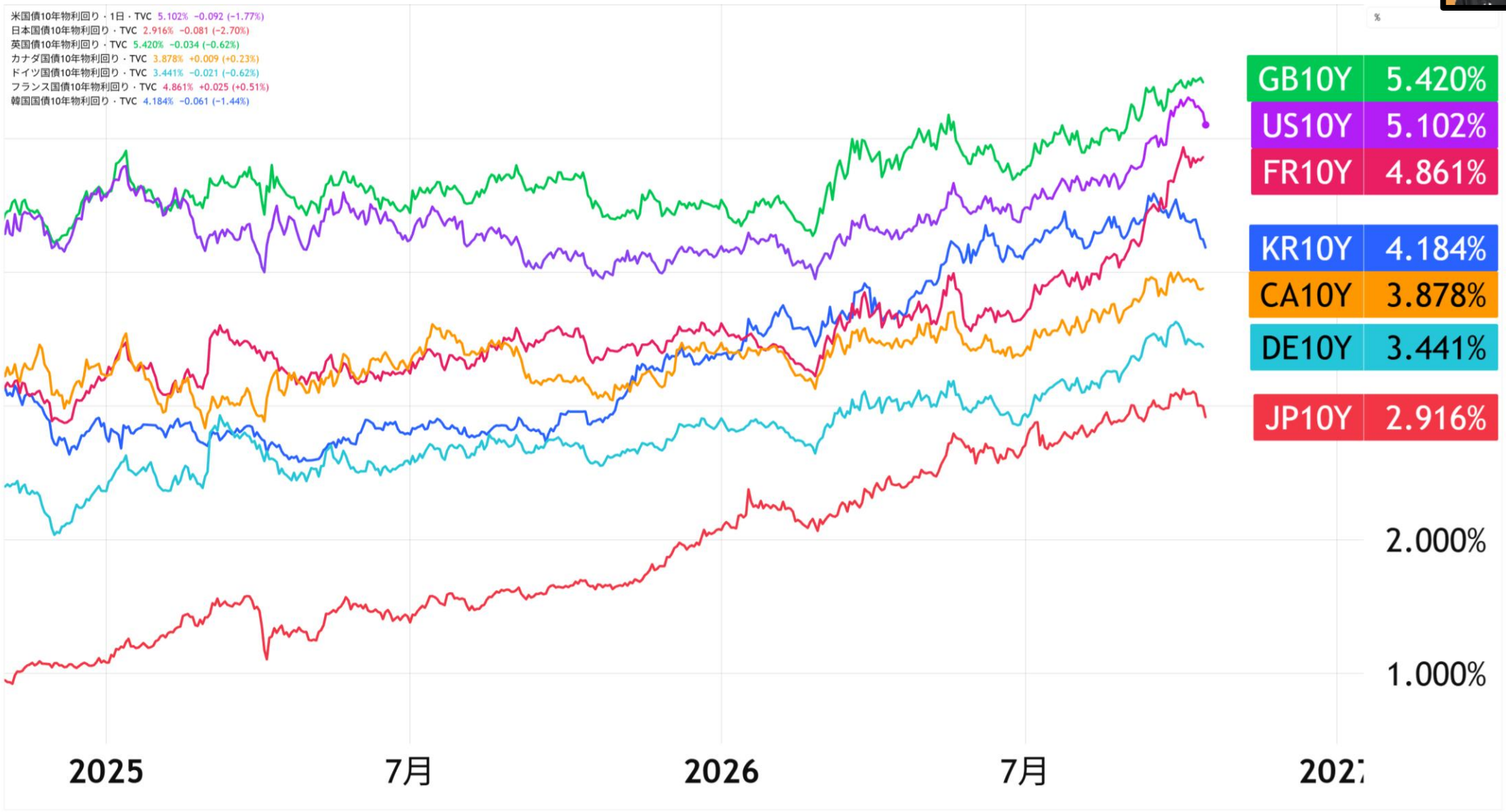
今後の金：3人×３つの注目点

池水	亀井	小菅
世界各国の 財政状況	危機的水準に突入する米財政赤字の今後	別角度でみる 金需給データ
続く中央銀行の ゴールドシフト	中国人民銀行による 金購入実態の表面化	デジタルの世界が 生み出す金需要
増大する アジアの影響力	流転の投資環境と 俯瞰的視点の必要性	デジタルゴールドで 変わる金の役割

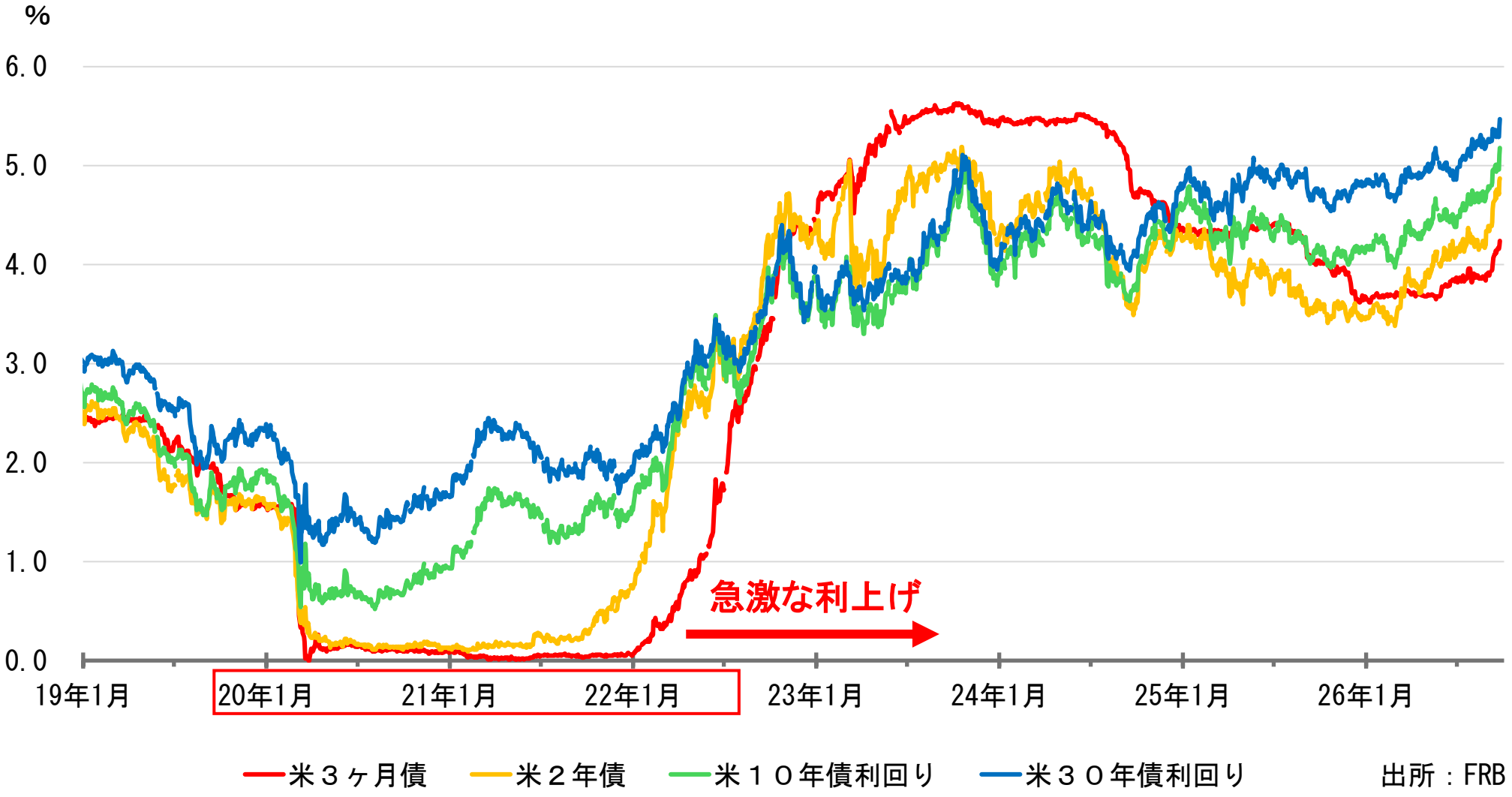
①世界各国の財政状況

危機的水準に突入する米財政赤字の今後

主要国長期債利回りの推移



米国債利回りの推移（2019年以降）



出所：FRB

米国の公的債務残高の推移（兆ドル）

米公的債務初の40兆ドル（約6400兆円）突破

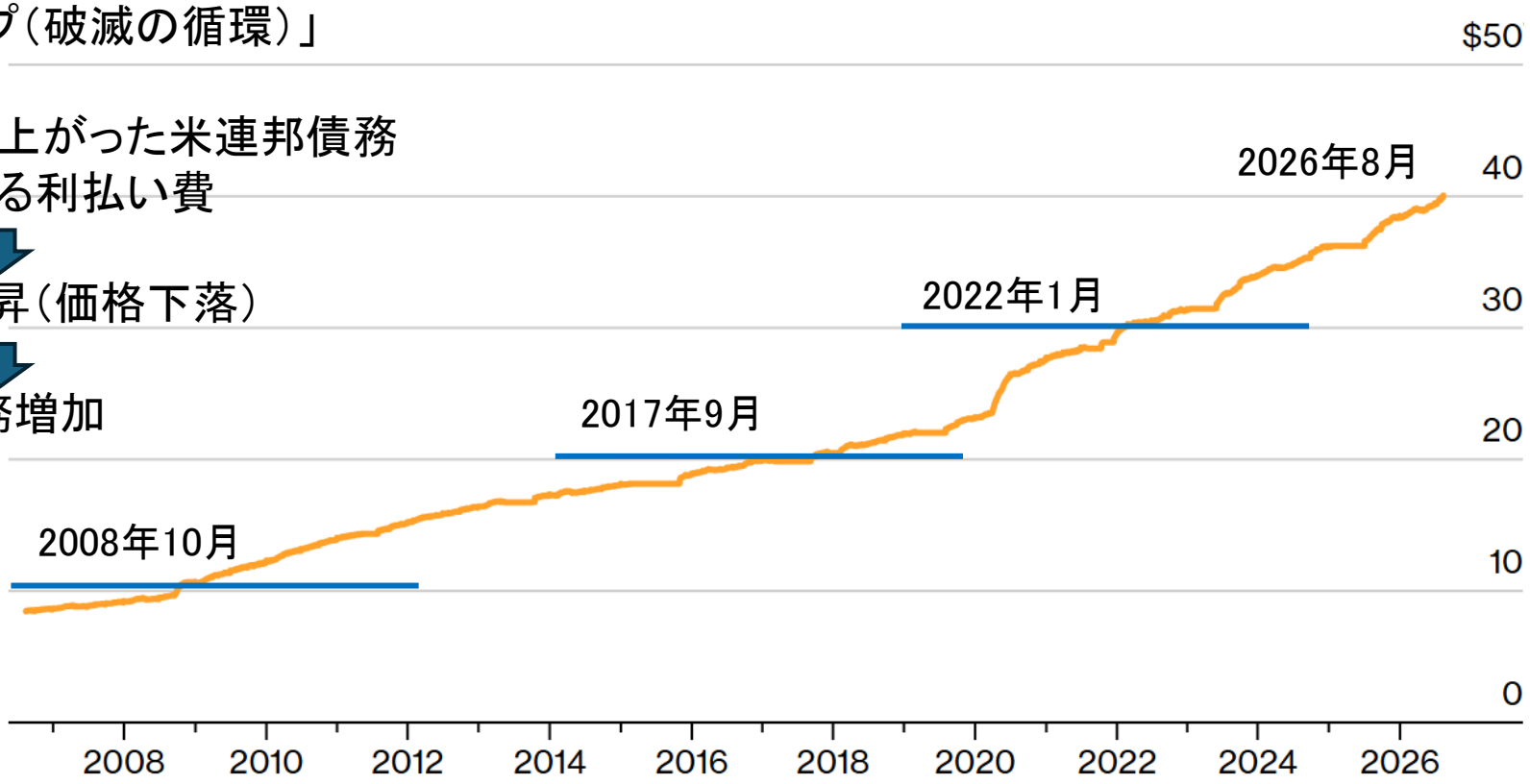
「ドゥームループ（破滅の循環）」

歴史的水準に膨れ上がった米連邦債務

急膨張する利払い費

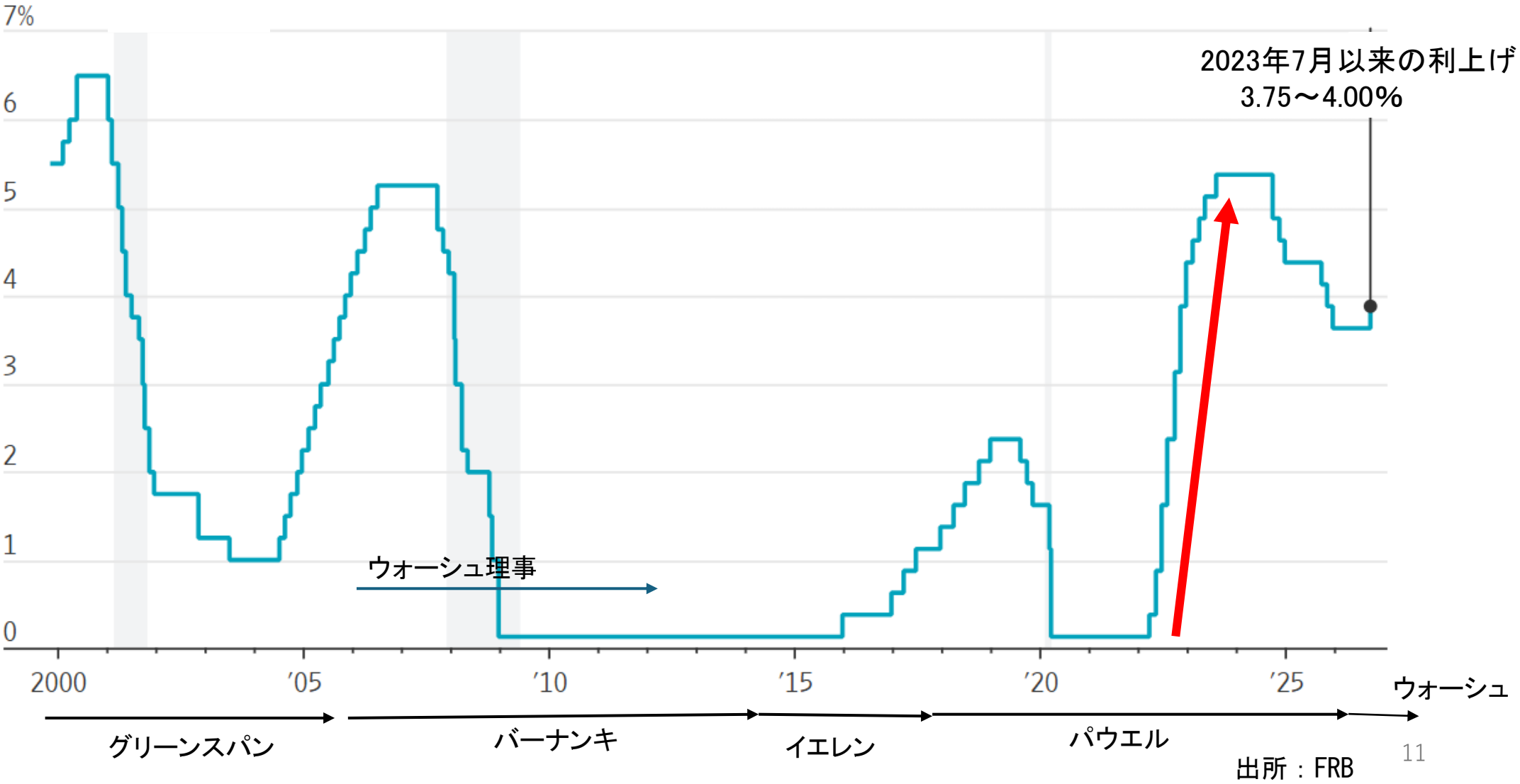
利回りの上昇（価格下落）

債務増加



（出所：米国財務省）

FRBの政策金利の推移（1999年～）



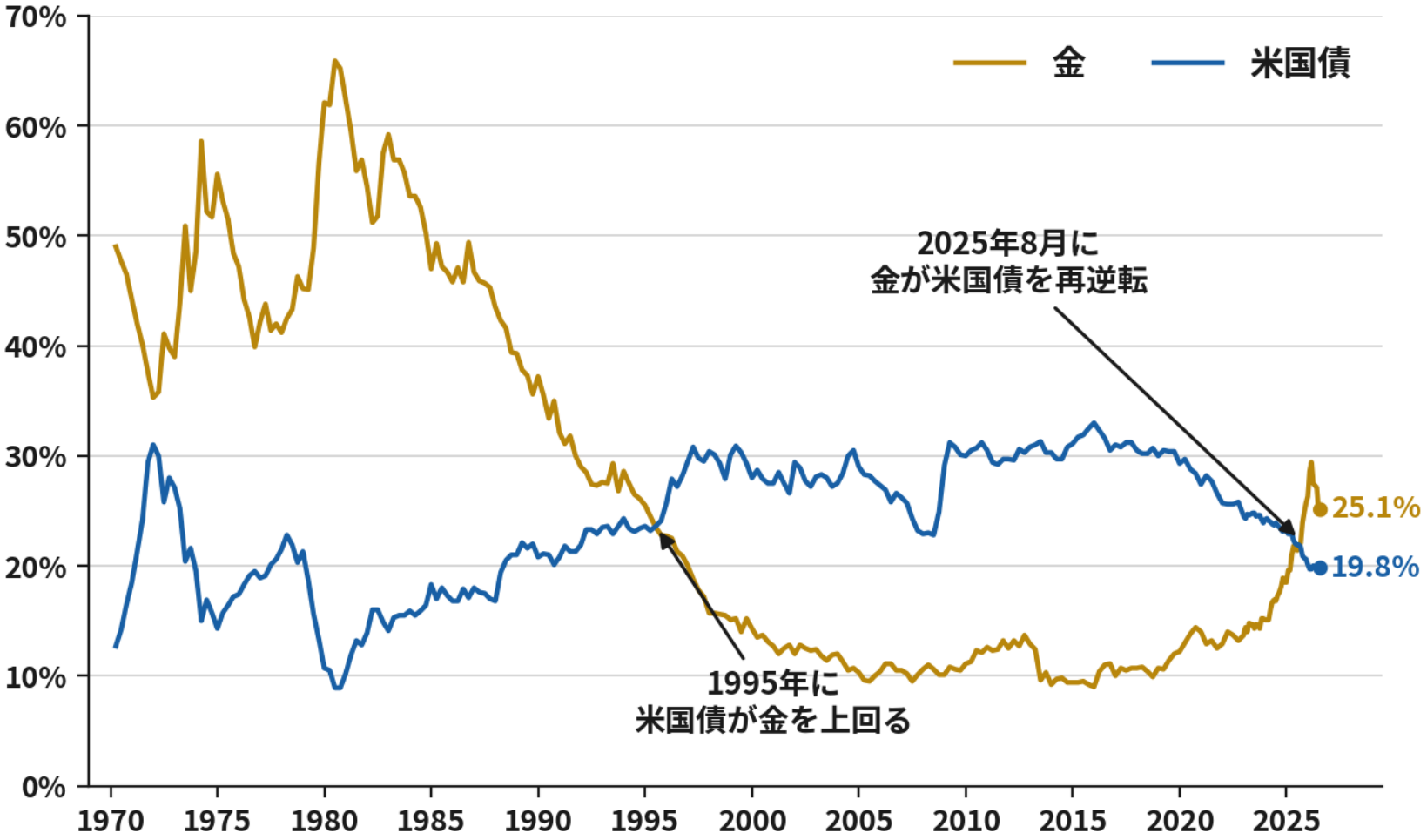
出所：FRB

②続く中央銀行のゴールドシフト

中央銀行は米国債よりもゴールド保有へ

世界の中央銀行の準備資産：金と米国債の比率

米国を含む。金（市場価格評価）と米国債が準備資産全体に占める割合（1970年～2026年7月）



出所：IMF（International Liquidity）、米財務省（TIC）、FRB（資金循環統計）

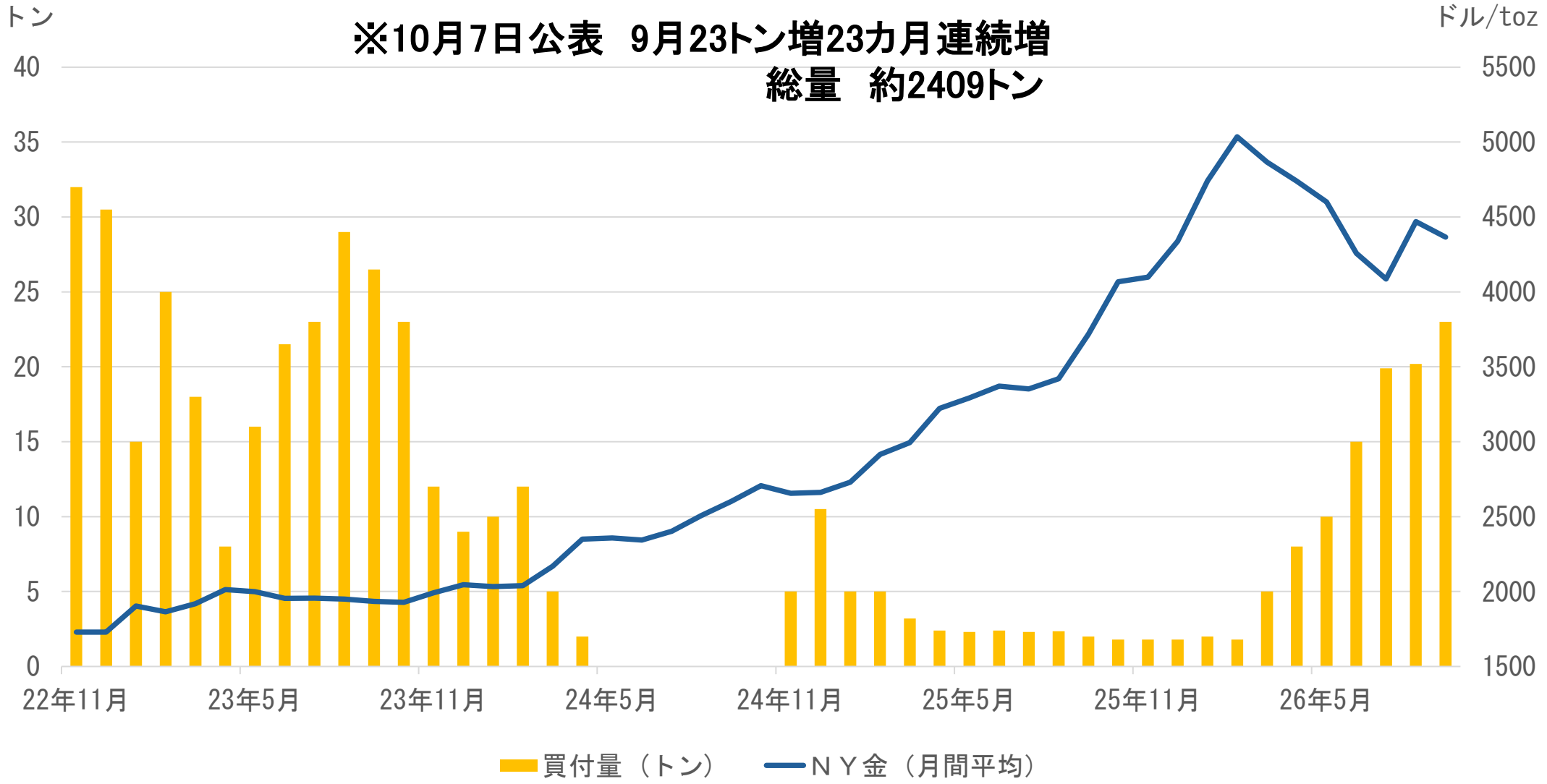
③中国人民銀行による金購入実態の表面化

世界各国の金保有量（上位20カ国・機関2026年9月）

		Tonnes	% of reserves**	Holdings as of
1	United States	8,133.5	83.0%	Aug 2026
2	Germany	3,349.3	82.7%	Jul 2026
3	IMF	2,814.0	[1)]	Aug 2026
4	Italy	2,451.8	78.9%	Aug 2026
5	France	2,437.0	80.6%	Jul 2026
6	China, P.R.: Mainland	2,386.6	9.1%	Aug 2026
7	Russian Federation	2,270.5	44.3%	Aug 2026
8	Switzerland	1,039.9	13.7%	Jul 2026
9	India	880.5	17.1%	Aug 2026
10	Japan	846.0	10.3%	Aug 2026
11	Poland, Rep. of	648.0	30.9%	Aug 2026
12	Netherlands, The	612.5	72.7%	Jul 2026
13	Turkey[5)]	532.1	52.9%	Aug 2026
14	ECB	508.4	53.1%	Jan 2026
15	Uzbekistan, Rep. of	438.6	89.9%	Aug 2026
16	Taiwan Province of Ch	423.9	9.4%	Apr 2026
17	Portugal	382.7	81.0%	Jul 2026
18	Kazakhstan, Rep. of	377.1	78.9%	Aug 2026
19	Saudi Arabia	323.1	8.8%	Jul 2026
20	United Kingdom	310.3	21.2%	Aug 2026

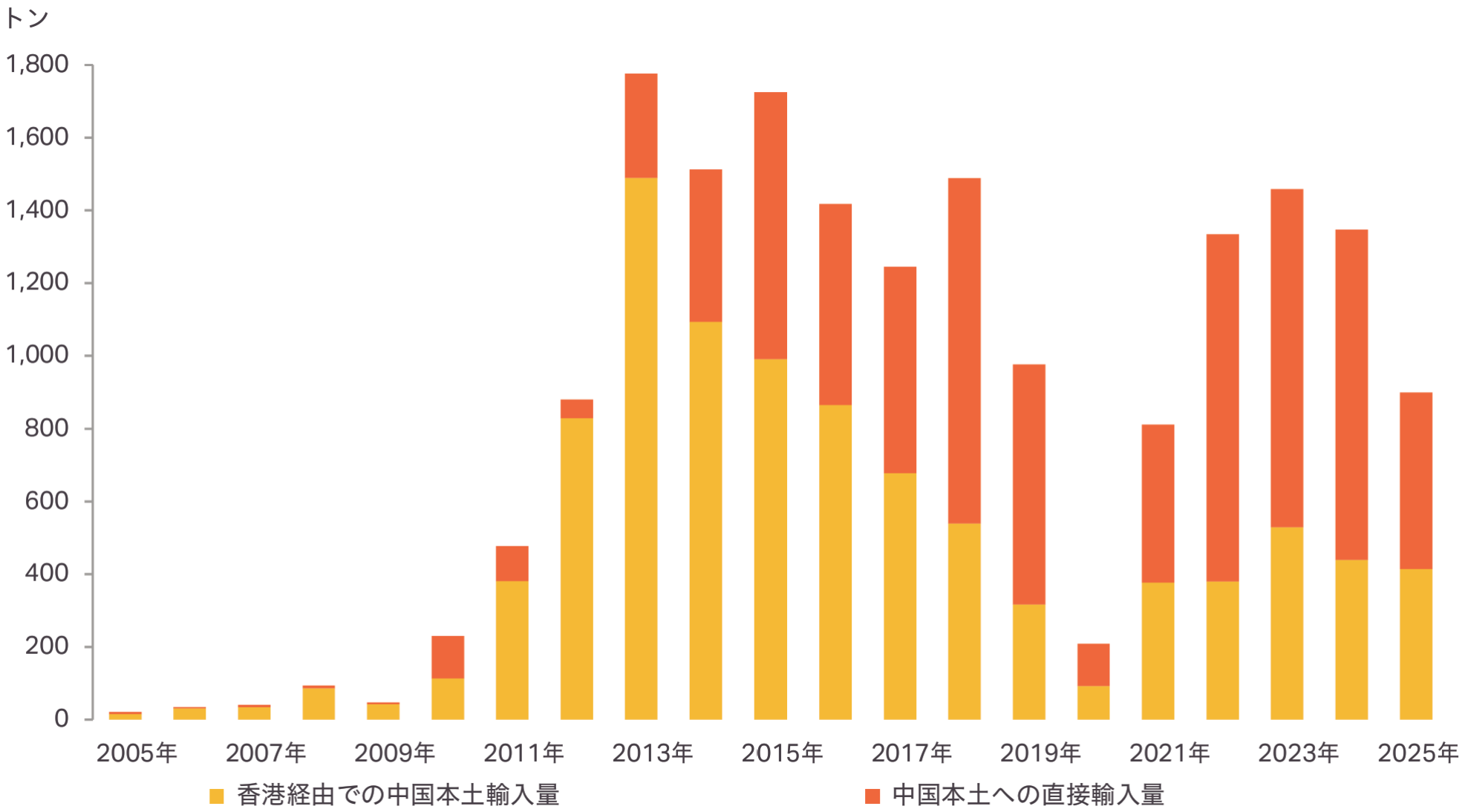
(World Gold Council)

中国人民銀行 月次ペースで加速する金購入（IMF届け出ベース）



出所：State Administration of Foreign Exchanges, World Gold

中国と香港による金地金輸入量の推移（2005～2025年）



（Metals Focus）

④別角度でみる金需給データ

別角度でみる金需給データ～金の市場規模という視点～

金の市場規模（重量、金額）

（トン）

（億ドル）

金需要（重量）

金需要（金額、右軸）

1,400
1,350
1,300
1,250
1,200
1,150
1,100
1,050
1,000
950
900

2,500
2,000
1,500
1,000
500
0

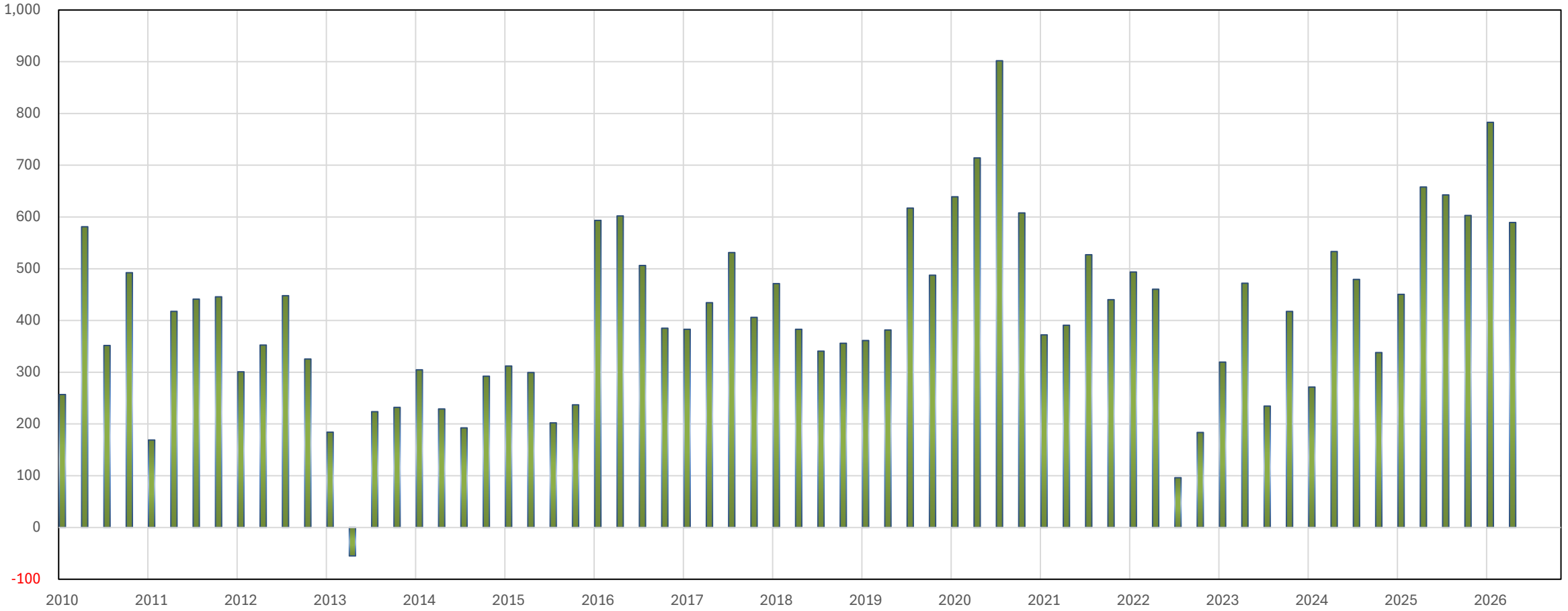
2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026

（出所）World Gold Councilよりマーケットエッジ作成

別角度でみる金需給データ～金投資需要の受け皿はどれくらい？～

（トン）

金投資需要の受け皿
＝（総供給－加工需要－中央銀行需要）＝（金投資需要＋OTC需要）



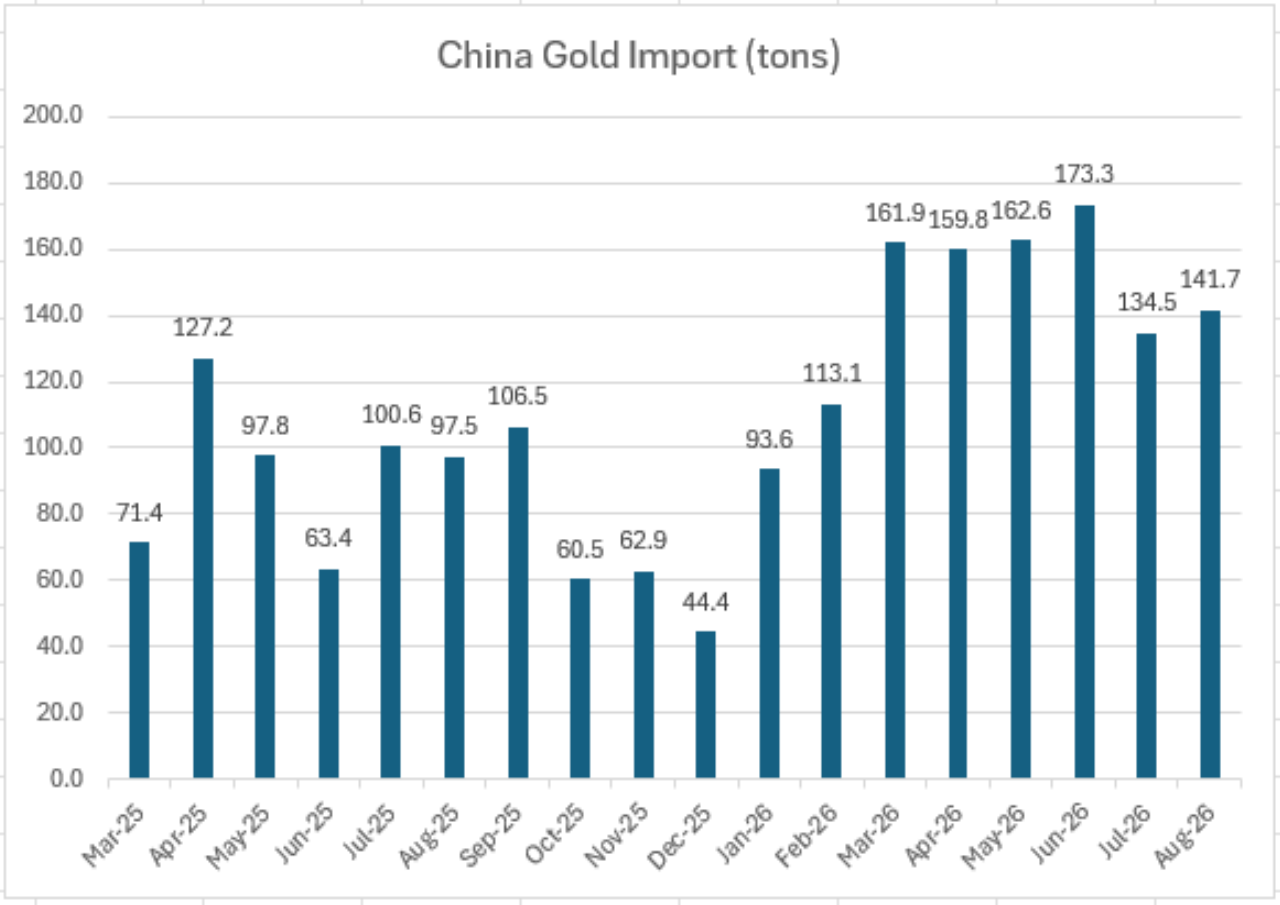
（出所）World Gold Councilよりマーケットエッジ作成

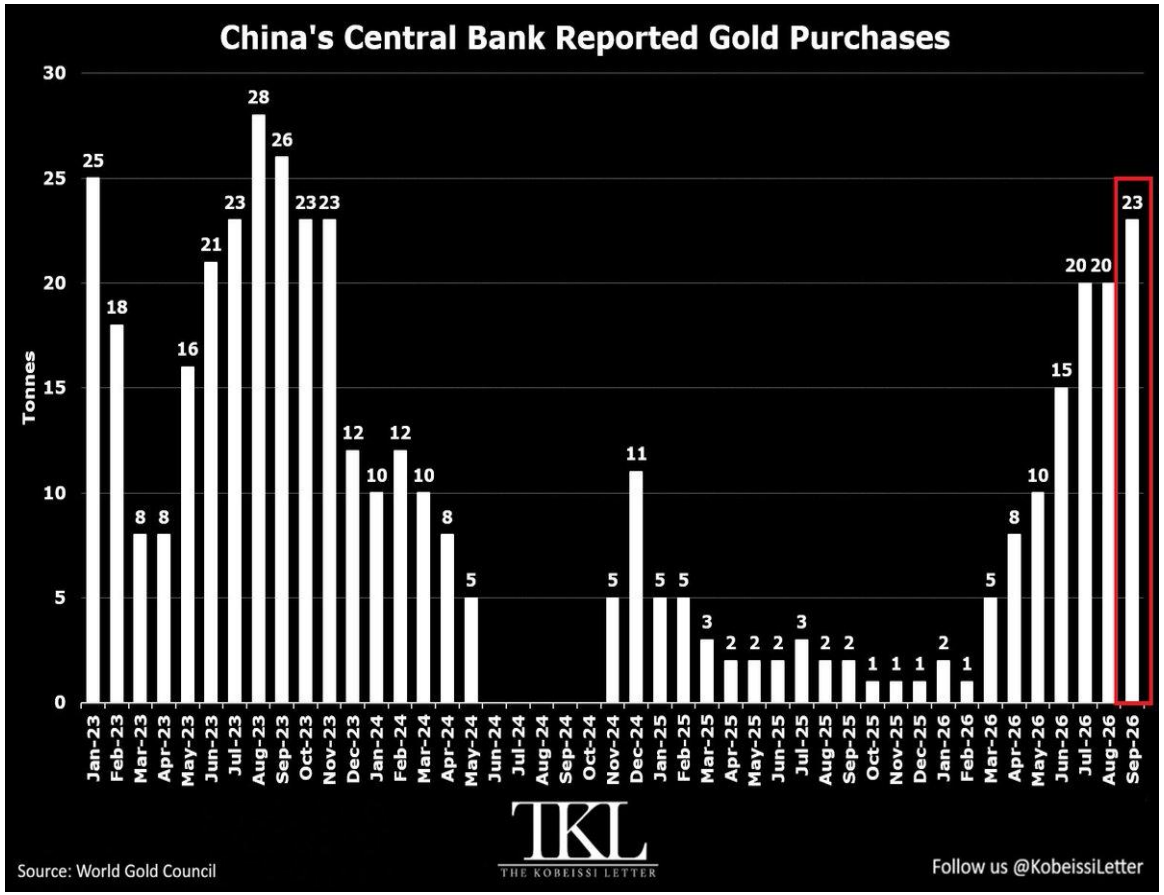
⑤増大するアジアの影響力

価格決定権は欧米からアジアへ

増大するアジアの影響力＝中国

中国はゴールドを買い続ける。上海のオープン時間である日本時間朝10時に相場が大きく動くことが日常に





増大するアジアの影響力＝中国以外

【香港】

- 政府主導で保管・取引・精算を一カ所で行う構想を発表
- Loco London の香港バージョンを設定、SGEとも連携
- 香港のゴールド保管量を現在の200トンから今後3年で2000トンへ
- HKEX（香港取引所）ドル建てゴールド先物再開、来年から人民元建ても開始予定

【シンガポール】

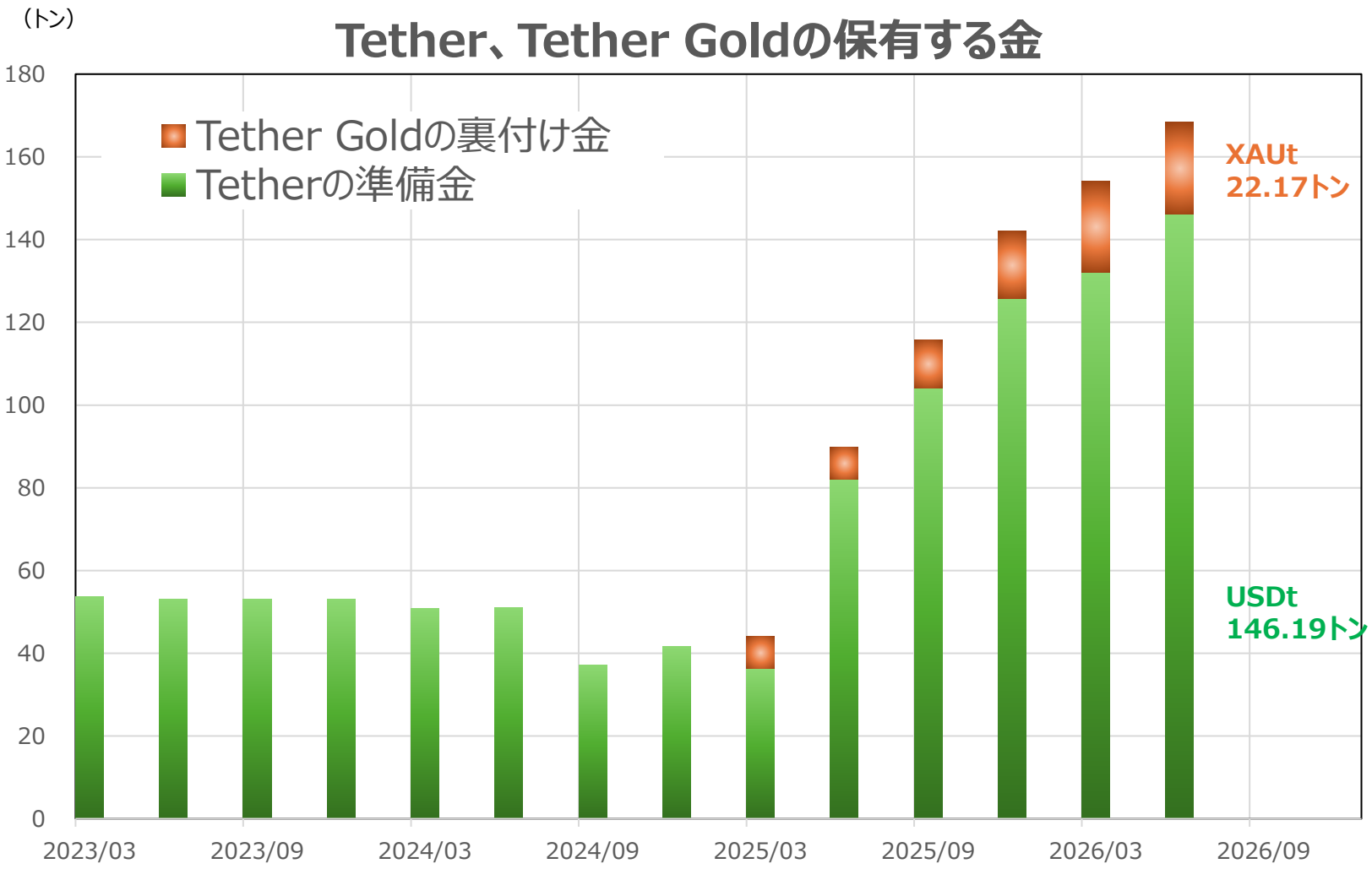
- MASとSBMAがGold Market Development Working Group」設立
- Loco Singapore精算システムの導入、2027年を目指す
- MASによる中央銀行向け保管サービスを計画

増大するアジアの影響力=Laos

- ラオスは東南アジア第二位のゴールド生産国（年間12トン）
- 現在、LBB（Lao Bullion Bank、2025年9月設立）を中心にして国内のゴールドをマネタイズし、世界市場への進出を開始

⑥デジタルの世界が生み出す金需要

デジタルの世界が生み出す金需要～Tetherの金保有量は168.4トン～



（注）2025年までは四半期末のLBMA地金価格から、2026年以降は開示資料に基づいてマーケットエッジ計算、　（出所）Tetherよりマーケットエッジ作成

公的部門の金保有量

順位	国名	金保有量（トン）
1	米国	8,133.5
2	ドイツ	3,349.5
3	IMF	2,814.0
4	イタリア	2,451.8
5	フランス	2,437.0
6	中国	2,366.3
7	ロシア	2,276.8
8	スイス	1,039.9
9	インド	880.5
10	日本	846.0
26	シンガポール	203.5
27	アゼルバイジャン	178.1
28	イラク	175.6
29	アルジェリア	173.6
30	ブラジル	172.4
	Tether	**168.4**
31	ベネズエラ	161.2
32	リビア	146.7
33	フィリピン	133.5
34	エジプト	129.7
35	スウェーデン	125.7

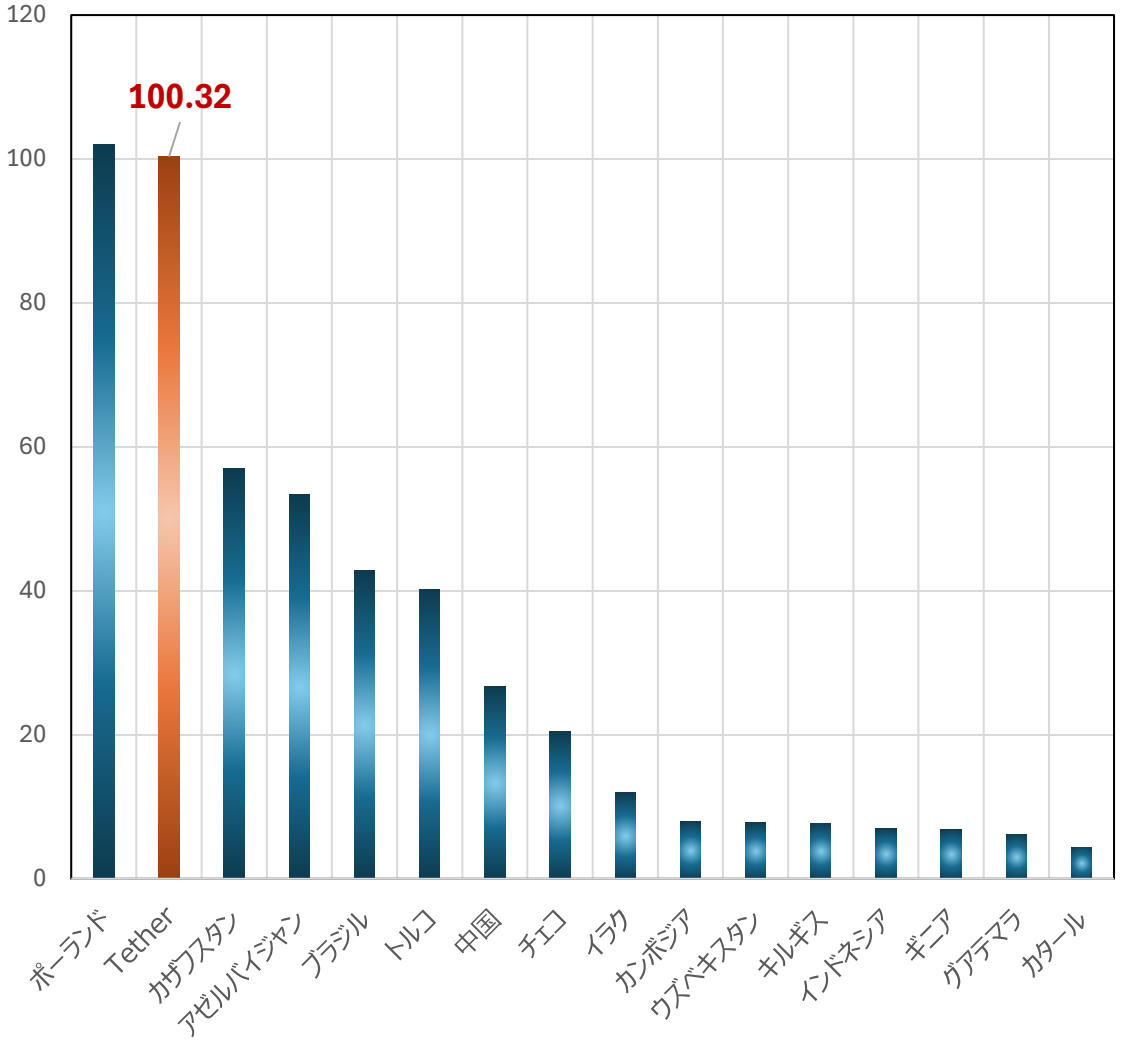
（注）2026年10月2日時点の入手可能なデータ

（出所）World Gold Council、Tehterよりマーケットエッジ作成

デジタルの世界が生み出す金需要～Tetherは中銀と並ぶプレイヤーに～

（トン）

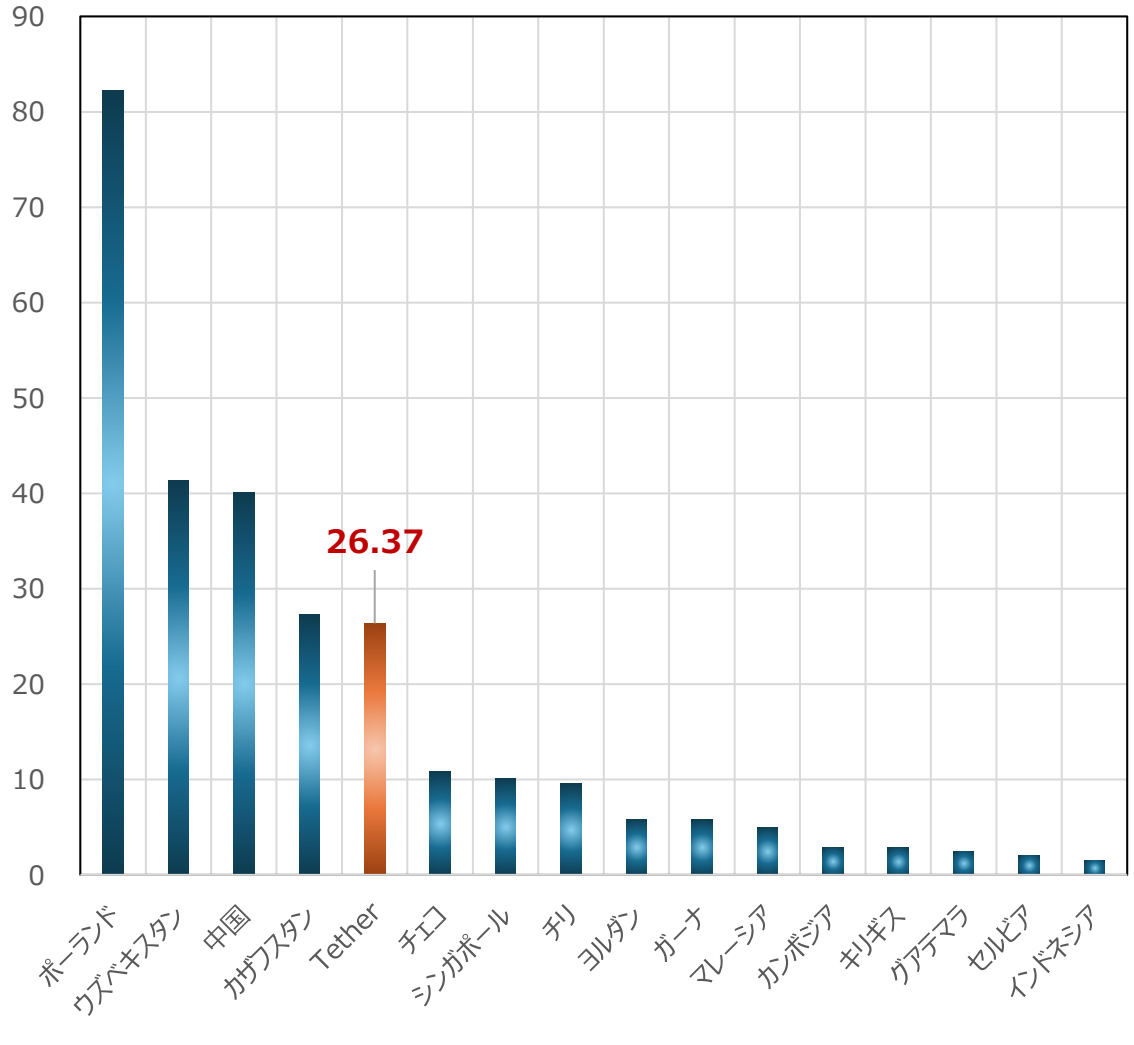
公的部門の金需要（2025年）



（出所）World Gold Council、Tehterよりマーケットエッジ作成

（トン）

公的部門の金需要（2026年上期）



（出所）World Gold Council、Tehterよりマーケットエッジ作成

⑦デジタルゴールドで変わる金の役割

デジタルゴールドで変わる金の役割～「保有・投資」から「移転・決済・準備資産」へ～

規模感
（地金・コイン＝
100）

4万7,800トン	4,189トン	Bullion Vault 44トン OneGold 124トン※ （※貴金属合計）	XAU₹ 22トン PAXG 13トン	不明
地金・コイン	**金ETF**	**デジタル金**	**トークン金**	**決済型デジタル金**
保有する	**投資する**	**所有をデジタル化**	**移転する**	**使う**
地金 / コイン	GLD / IAU	BullionVault OneGold	XAU₹ / PAXG	Glint

0.07

新しい需要主体

168トン
準備資産
信用を支える
Tether準備資産

0.35

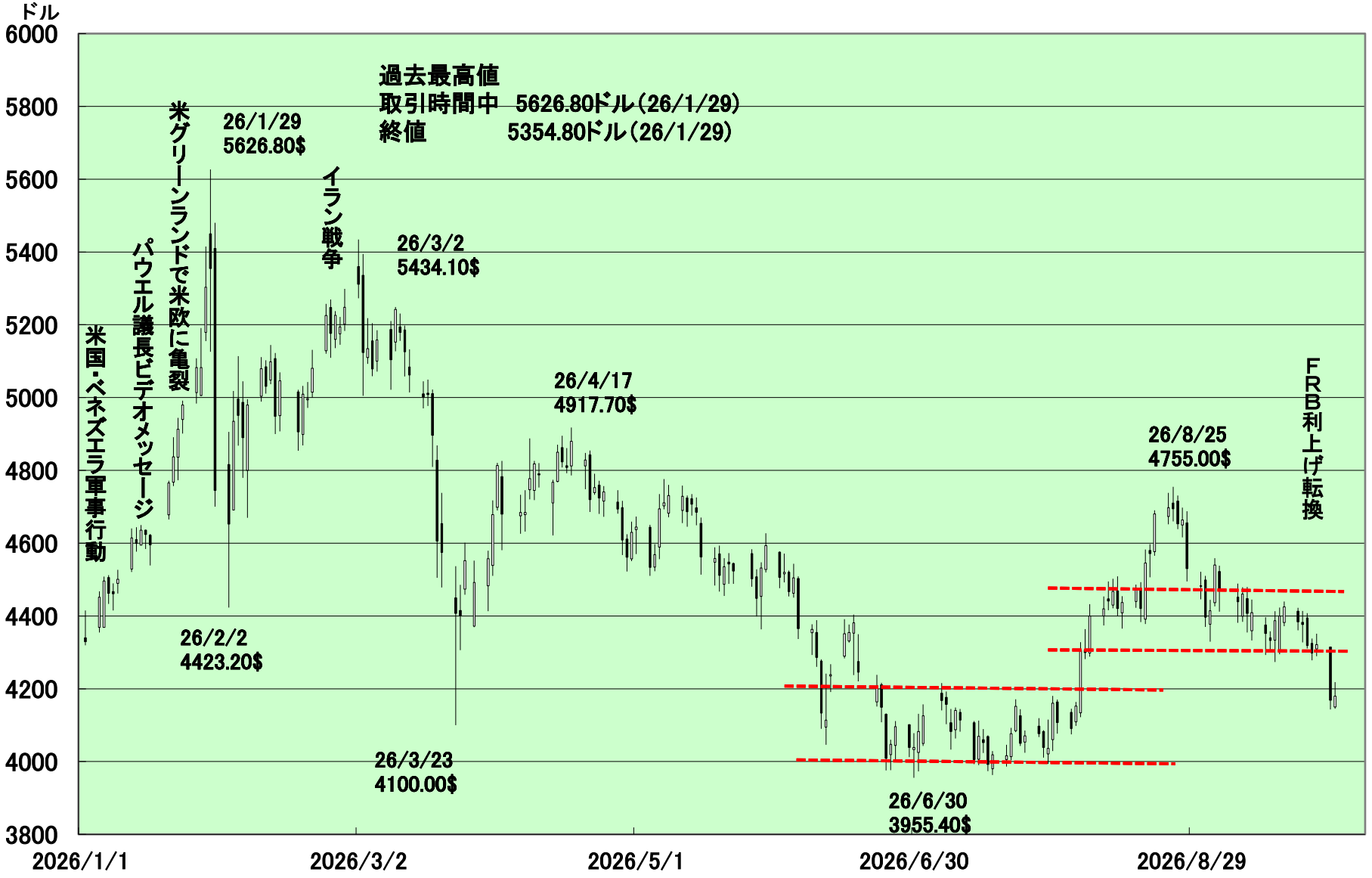
金は「保有・投資する資産」から、
「移転・決済・デジタル金融の準備資産」
へ
その用途が拡大するのか？

※各数値は入手可能な直近値。基準日は異なる。

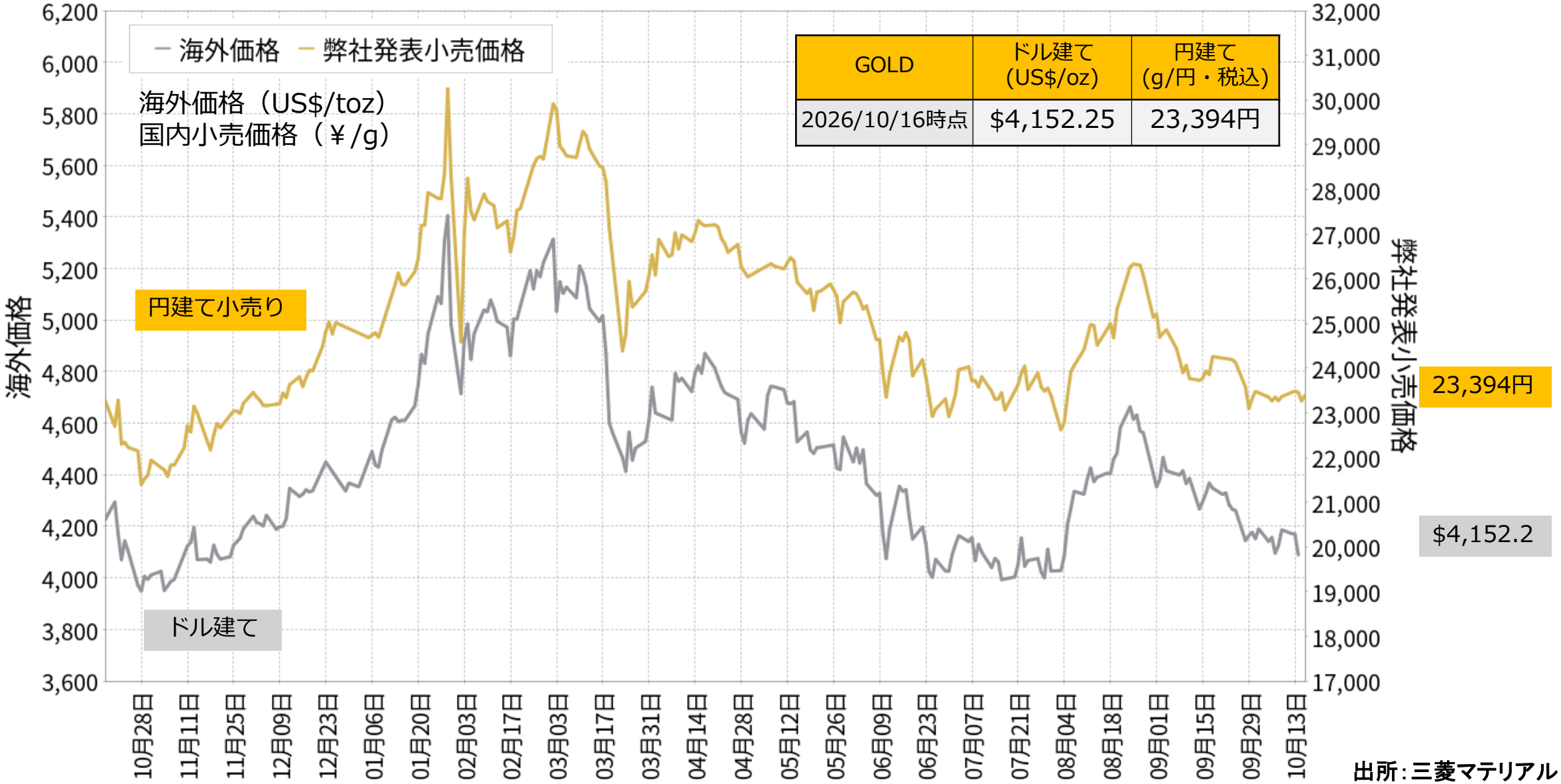
今後の見通し

流転の投資環境と俯瞰的視点の必要性

NY金の推移（2026年1月～）



金価格1年推移（出所：三菱マテリアル）



出所：三菱マテリアル

1年先の金価格見通し（2027年10月）

GOLD	ドル建て (US$/oz)	円建て (g/円・税込)
池水		
亀井		
小菅		
2026/10/16時点		

スクリーンでご確認ください

5年先の金価格見通し（2031年）

GOLD	ドル建て (US$/oz)	円建て (g/円・税込)
池水		
亀井		
小菅		
2026/10/16時点		

スクリーンでご確認ください

本資料の取り扱いについて

- 本資料はマーケット情報の提供を目的としたもので、特定の商品の勧誘及び販売を目的として作成されたものではありません
- 本資料で提供する情報については万全を期しておりますが、その情報の正確性を保証するものではありません
- データ･見解は作成時点の見解を示すものですが、本資料により被った損害を補償するものではありません
- 本資料を参考に投資を行う場合、投資にあたっての最終判断はお客様ご自身の判断でなさるようお願いします
- いかなる目的に関わらず、転載、複製、引用することを禁じます
- 本資料をキャプチャし、SNS等での拡散も禁じます